

北海道立オホーツク流氷科学センターの概要

目 次

1	北海道立オホーツク流氷科学センターの概要	1
(1)	事業の経過	1
(2)	施設概要	1
(3)	位置図及び施設図面	1
(4)	建築概要	1
(5)	機械・電気設備概要	2
(6)	展示設備概要	3
(7)	供与備品一覧	6
2	本施設利用者数実績	8
3	本施設現行利用料金一覧表	8
(1)	設置条例上限額	8
(2)	利用料金承認額（平成18年4月1日承認）	9
(3)	利用料金収入の減免基準及び運用	9
4	本施設使用料・利用料金収入実績	10
5	管理運営経費等の推移	11
(1)	管理運営経費の推移	11
(2)	主な修繕等の実績及び見込み	11
6	実施事業の概要	11
(1)	指定管理業務	11
(2)	【参考】現指定管理者の自主企画事業（上記に含まない独自事業）	12
7	北海道財務規則（昭和45年北海道規則第30号）	
	第205条の17に基づく設置許可等の状況	12

1 北海道立オホーツク流水科学センターの概要

(1) 事業の経過

- ① 北海道立オホーツク流水科学センター(以下「本施設」という。)は、昭和60年度に調査検討会を設置し、昭和61年度に建築構成が出され、流水域であるオホーツク海沿岸地域にはユニークな歴史や文化、産業等の独自の文化圏が形成されており、この圏域の今後の振興と発展に役立てるとともに、この文化の蓄積を道民の財産として保存し活用するための拠点として、平成2年度に設置された。(平成3年2月3日開館)
- ② 本施設は、流水及び海洋に関する科学的知識の普及を図るとともに、流水に象徴されるオホーツク圏の自然と生活文化に対する理解を深めることを目指し、流水及び海洋並びに生活文化に関する資料の収集、保管、展示、調査研究、普及啓発を行っている。

(2) 施設概要

本施設の管理及び運營業務の対象となる施設は、次のとおりである。

1	所在地	紋別市元紋別11番地6
2	設置目的	流水及び海洋に関する科学的知識の普及を図るとともに、流水に象徴されるオホーツク圏の自然と生活文化に対する理解を深める。
3	施設内容	
	(1) 敷地面積	13,823㎡ (紋別市有地)
	(2) 施設	
	ア 規模	建築面積 2,370.83㎡ 延床面積 3,099.91㎡
	イ 構造	地上3階、地下1階 鉄筋コンクリート造
	ウ 展示	展示室(展示室、厳寒体験室、流水観測室、流水プレイランド)、 展示プラザ、全天周映像ホール(115席)、エピローグ
	エ その他施設	多目的ホール(収容120人)、会議室(収容15人)、 エントランスホール、展望室、架け橋(外部展望台)、 身障者用トイレ(1箇所)、授乳室(1箇所)、学芸員室、資料室
	オ 便益施設	軽飲食コーナー(1箇所)、売店(1箇所)、自動販売機(1台)
	カ 付帯施設	一般駐車場(隣接の紋別市所有の駐車場が利用可能、普通車120台、 大型車10台)、 身障者駐車場(1台)、職員駐車場(15台)

(3) 位置図及び施設図面

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 付近見取図、案内図、配置図 | 別図1 |
| ② 地下1階平面図 | 別図2 |
| ③ 1階平面図 | 別図3 |
| ④ 2階平面図 | 別図4 |
| ⑤ 3階・屋上平面図 | 別図5 |
| ⑥ 立面図(北面・東面) | 別図6 |
| ⑦ 立面図(南面・西面) | 別図7 |
| ⑧ 立面図(北東面・南西面) | 別図8 |
| ⑨ 断面図 | 別図9 |

(4) 建築概要

① 外装仕上

- 外壁 磁器小口モザイクタイル（100×50一部ラスター）貼、
スチール製（外部チタン）断熱カーテンウォール、ハーフミラーペアガラス
- 屋根 アスファルト防水、洗い砂利乳剤固め
- 建具 アルミ製電解着色断熱サッシ・ペアガラス、カラーステンレスフラッシュドア

② 内装仕上

- 床 磁器質タイル模様貼、特殊塩化ビニールタイル貼、カーペットタイル貼 ほか
- 壁 陶器質二丁掛特殊タイル貼、銘木化粧合板貼、特殊吸音板貼
石膏ボード下地ビニールペイント仕上げ・ビニールクロス貼 ほか
- 天井 スチールメッシュ天井、カラーステンレスパネル、吸音板（キューブ） ほか

(5) 機械・電気設備概要

① 空気調和設備

- 展示室、多目的ホール、全天周映像室（夏：26℃・50%、冬：22℃・40%）
- 吸収式冷温水発生機 冷房能力 281,300kcal/h
暖房能力 210,000kcal/h
- 空気調和機 3台
展示室系統、多目的ホール系統、全天周映像室系統、
エアハンドリングユニットによる単一ダクト方式

② 冷蔵設備

- 厳寒体験室 -20℃
- 氷蔵庫 -15℃
- 冷凍機 7,500kcal/h 2台（氷蔵庫用）
20,000kcal/h 2台（厳寒体験室用）
- 空気調和機 1台

③ 給水設備

- 紋別市上水道使用（飲料水、雑用水）
- 受水槽 FRP製（20^ト、有効容量16^ト）

④ 給湯設備

- 真空温水器 465,000kcal/h
- 貯湯槽 600^{リットル}

⑤ 排水設備

- 汚水 紋別市公共下水道
- 雨水 分流

⑥ 防災防犯設備

- 館内監視カメラ ネットワークカメラ 6台
- 館内監視モニター 24インチモニター 3台
- 屋内消火栓 7台
- 火災報知設備 P型1級複合盤40回線

⑦ エレベーター設備

- 身体障害者用乗用エレベーター（油圧式） 1基
積載量：750kg 定員：11名 定格速度：45m/分

⑧ 受変電設備

- 受電電圧 6KV
- 変圧器容量 325KVA、スコット30KVA
(電灯 100KVA、一般動力75KVA、冷凍機動力150KVA)

⑨ 発電設備

- 発電機 224PSパッケージ型ディーゼル機関
- 定格 回転数：1,500rpm 電気方式：3相
定格電圧：200V 定格容量：160KVA

⑩ 電灯設備

- 展示室、観測室、厳寒体験室、氷蔵庫等の展示エリア：
展示サイドによる演出照明が主体、
補助としてLEDシーリングライト（メッシュ天井内）
- 多目的ホール： LED高天井用
- ロビー： LEDシーリングライト（メッシュ天井内）
- 共用部分照明： 事務室にて一括点滅（グラフィック表示）

⑪ 電話設備

- デジタル型電子ボタン電話機 25台

⑫ 放送設備

- 全館用 240W
- BGM用 120W

⑬ 視聴覚設備

- ブルーレイプレイヤー、液晶プロジェクター

(6) 展示設備概要

① エントランスホール

- テーマ **＝世界の中のオホーツク＝**
- 概要 展示室を見学する際の導入部として位置づけ、流氷が見られる海としては世界で最も赤道に近い海であるオホーツク海と、センターの置かれた紋別市とほぼ同緯度に位置する世界の各都市との比較の中で、全地球的な視点からオホーツクの特異性を考える。
また、正面壁面には、沢田正文氏製作のレリーフを掲げ、センターのテーマである氷海、海の歴史等を表現しているほか、喫茶コーナーには、石戸谷準氏制作のスタンドグラス「変わりゆく光と水」を展示している。
- 展示手法 北緯40度以北の北半球儀
民族衣装を身にまとったキャラクター人形(北緯45度に並ぶ世界の10都市)

② 展示プラザ

- テーマ **＝北方圏を結ぶ流氷＝**
- 概要 全天周映像ホールと展示室への導入部として、世界の流氷都市の表情を、映像と世界の言葉の表示により紹介し、北方圏の自然的、文化的つながりを表現している。
- 展示手法 文字のレリーフ造型（絵タイル）
雪、氷、流氷、つららの4つの言葉

③ 全天周映像

- 概要 流氷の世界や、オホーツクの四季、生物などを直径15mのドーム型スクリーン全体に、迫力ある画像と音響により表現している。

- また、上映アプリケーションによるプラネタリウム映像を投影する。
- 展示手法 全天周映像装置（液晶レーザープロジェクター機器5台使用）
観覧席 115席（傾斜角30度の階段状）及び車椅子用スペース
- 上映作品 「TO OKHOTSK THE SEA OF WONDER—オホーツク・驚きの海へ—」
- 上映時間 各作品とも約15分
10時、11時、13時、14時、15時、16時に上映
- ④ 展示室
- テーマ1 **＝オホーツクの科学＝**
- 概要 オホーツク海の特徴や流氷が発生する要因、流氷のもたらす影響、水産との関係などを紹介している。
- 展示手法 海氷生成地形模型（オホーツク海）、映像装置「流氷を育む海オホーツク」
解説パネル、プロジェクションマッピング「流氷物語」
- テーマ2 **＝氷の科学＝**
- 概要 氷海用水陸両用艇の試作艇1号機である「AST-1」の実物大模型展示を中心に、流氷砕氷船や、流氷の誕生から消滅までの流氷の変化や氷の比較など、氷に関する色々な科学的知識を紹介している。
- 展示手法 AST-1、2号機、ASVの模型、流氷生成模型
映像装置 「流氷の誕生と消滅」 「ガリンコ号が生まれた」
「アルキメディアンスクリュー」
結晶観察装置（顕微鏡）、窓氷レプリカ、氷あてゲーム
- 【参考】 **その他の展示（現指定管理者導入による展示）**
- 概要 その他海洋や流氷に関する展示のほか、地球環境をテーマとした展示など色々な科学的知識を紹介している。
- 展示手法 クリオネの通年展示 「クリオネハウス」
パネル、岩石、機材、3Dプリンター模型等 「極地の世界」
各種発生装置 「氷晶発生装置」 「過冷却装置」
「竜巻発生装置」 「不思議なシャボン玉」
- ⑤ 流氷観測室
- テーマ **＝流氷観測所＝**
- 概要 流氷に関する情報を、パネル等で紹介している。
- 展示手法 気象状況表示装置、野外風景ITV、図書コーナー
- ⑥ 流氷プレイランド
- 概要 海氷などの結晶の万華鏡や氷上歩行ゲーム、Q&Aにより、遊びながら流氷の科学を体験することができる。
- 展示手法 カレードスコープ、マイコンQ&A装置、疑似流氷原造作
- ⑦ 厳寒体験室
- テーマ1 **＝流氷へのいざない＝**
- 概要 来館者に防寒着（ダウンジャケット）を着用のうえ、氷点下20度の室内に入室してもらい、実物の流氷を紹介している。
- 展示手法 ブリザード音の再現装置、強風の発生装置
流氷水族館（オホーツク近海の魚たちを氷り漬けにして展示）
- テーマ2 **＝氷点下20度の世界＝**
- 概要 年間を通して、氷点下20度の厳寒環境のもと、氷海に浮かぶ流氷や低温下

での氷の様々な表情を紹介し、氷に直に触れ、冬のオホーツクを体感してもらおう。

- 展示手法 様々な氷のサンプルや研究用南極氷コア、氷琴演奏、食物の氷漬け標本
- テーマ3 **=オホーツクの自然=**
- 概要 映像設備による没入感の演出効果や、オホーツクの自然に関する写真動画、画像の展開により魅力を発信する。
- 展示手法 プロジェクター上映

⑧ エピローグ

- テーマ **=サイエンスギャラリー=**
- 概要 人間の錯覚を利用した「錯視」イラストにより、児童向けの科学的な展示を行う。
- 展示手法 カラーコルトンパネル14枚

⑨ その他の展示

○エントランスホール

- ペーパークラフト模型「グリズリー」
- 北極熊のはく製（直立）～（森豊氏から寄贈）
- 絵画5点（村瀬真治作／紋別市立博物館から借用）

○展示室

- 写真「雪結晶の主な形」～（北海道大学低温科学研究所・古川義純助教授提供）
- 写真「幻氷」（紋別市／山原良一氏寄贈）
- 写真「南極、ロス棚氷底部の海氷コア」～（アラスカ大学／J. ケリー教授提供）
- 写真「北極の氷河」、「氷脈」、「流氷団子」、「冰山」、「氷のジグソー・パズル」、「氷野の花園」～（北海道大学低温科学研究所附属流氷研究施設／青田昌秋教授提供）
- 「北極点、水深4,200mの海底から採取した海水のサンプル」ほか～（砕氷船「ポーラー・シー」元船長ローソン.W. ブリガム氏寄贈）
- 水彩画2点「幻氷（ミズバショウ）」、「エゾスカシユリ」～（北の花だより工房主宰堀定子氏寄贈）
- ガリンコ号Ⅱ模型～（紋別市から借受）
- 海図木製ジオラマ（流氷倶楽部会長 古屋邦夫氏より寄贈）
- アート魚拓8点（東洋魚拓会会長 松永正津氏より寄贈）

○流氷観測室

- 紋別の流氷初日、流氷接岸初日、海明け流氷終日（最近15年間）～（センター設置）
- グラフでみる流氷（雄武・紋別・網走沿岸の年次別流氷量の推移）～（国民金融公庫北見支店提供）
- 流氷の音視聴装置
- 食物連鎖パズル
- 流氷の物語～アザラシの赤ちゃんへ

○厳寒体験室

- 北極熊のはく製～（紋別市／渋田一幸氏から寄贈）
- あざらしのはく製（奥貞勝弘氏から寄贈）

※ 所属職名等は、提供時のものです。

(7) 供与備品一覧

品名	規格	数量	取得年月日
事務用両袖机	イトーキ CS-1674N-22	1	H2. 9. 20
事務用片袖机	イトーキ CS-2174LN-22	13	
事務用脇机	イトーキ CS-4471N-22	6	
事務用回転椅子	イトーキ KH-703CGR	1	H2. 9. 20
〃	イトーキ 77-3566RBS-23	2	
金庫	コクヨ HS-31M	1	H2. 9. 20
センターテーブル	ライオン T-141S 532-26	1	H2. 9. 20
OA機器台	プラス PA-301 90-119	1	H2. 9. 20
OA用椅子	プラス KC-227S 04-539	1	H2. 9. 20
電動穿孔機 (パインダートリル)	プラス P-800N(パイン式) 25-062	1	H2. 9. 20
事務用食器棚	イトーキ HLK-0918EV	1	H2. 9. 20
被服ロッカー	ライオン 581-30 No.74	7	H2. 9. 20
〃	ライオン 581-26 No.71-S	1	H2. 9. 20
事務用両袖机	イトーキ LLH-168M13	1	H2. 9. 20
応接セット	イトーキ LEM-621W 基本3点	1	H2. 9. 20
センターテーブル	イトーキ LET-450-13	1	H2. 9. 20
会議用テーブル	アイチ CTS-450LB	28	H2. 9. 20
〃	チトセ JTM-1800	2	H2. 9. 20
〃 (ワゴンタイプ)	チトセ JTM-600	1	H2. 9. 20
会議用椅子	アイチ AV-SG ミントグリーン	119	
事務用片袖机	オカムラ 3813DF	2	
保管庫	コクヨ S-330	2	
応接テーブル	コクヨ NT-S112T(チーク柄)	1	H2. 9. 20
事務用食器棚	コクヨ BK-1	3	
掃除用具ロッカー	イトーキ HLC-0918	1	H2. 9. 20
台車 (スタッグ 5用)	アイチ アイスタックグループ台車	6	
ステージ	コクヨ WA-CITN	2	H3. 1. 14
講演台	コクヨ WA-110T	1	H3. 1. 14
花台	コクヨ WF-10T	1	H3. 1. 14
ファクシミリテーブル	ライオン 770-02 PPC-2	1	H3. 1. 14
カウンターテーブル	イトーキ HCM-2925M HCM-3724M(組合せ)	1	
会議用椅子	トヨタ MC-365(グレー)	6	
保管庫 (両開き)	イトーキ 3×6 H-365-20	2	
クリスタルキャビネット	イトーキ BH-2114V	1	H3. 1. 14
キャビネット (キャスター付)	イトーキ C-22 CST-4470	1	H3. 1. 14
軽量棚	オカムラ A型オープン W700×D450×H1800	2	
〃	オカムラ A型オープン W1800×D450×H1800	2	
保管庫 (引違い)	コクヨ 3×3 S-D3355AY	1	H3. 1. 14
〃 (引違いガラス戸)	コクヨ 3×3 S-D3355GAY	1	H3. 1. 14
マップケース	イトーキ AO-5N-20	1	H3. 1. 14
ビデオテープ保管庫	コクヨ S-V33	2	
保管庫 (両開き)	コクヨ 3×3 S-D3305AY	2	

〃	ライオン 755-15 DF-63GIV 6×6	1	H3.1.14
〃	ライオン 755-17 DF-63SIV 6×8	1	H3.1.14
書 架	オカムラ 単式7段タイプ (連結型) 6857NS 2連用 4連用	4	
〃	オカムラ 単式7段タイプ (単体型) 6857CS 2連用 4連用	2	
〃	オカムラ 複式7段タイプ (単体型) 6857ND	2	
コインロッカー	サン SC-25107アクリル窓付ペーヅェ コインリターン式	3	
かさ立て	オカムラ 40人用 鍵付 L9964NP	2	
〃	コクヨ US-185	1	H3.1.14
裁断機	ライオン 208-40 No.500	1	H3.1.14
雑誌架	イトーキ HRA-43V 3段	1	H3.1.14
ホワイトボード	コクヨ BB-R136W1W1	1	H3.1.14
パンフレット台	コクヨ ZR-PS122 スタンド型	1	H3.1.14
パネル	コクヨ SNP-E63M	7	
ガイドポールセット	オカムラ L990ZCP 2本 L990RCP 1本(組合せ)	3	
パネル	コクヨ SNP-E43M	8	
ビデオ三脚	ビクター TP-P10	1	H3.1.14
カメラ	ニコン F-601	1	H3.1.14
レンズ	ニコン AFニッコール 35~70mm NEW F3.5~4.5S	1	H3.1.14
〃	ニコン AFニッコール 28mmS	1	H3.1.14
フラッシュ	ニコン スピードライト SB-20	1	H3.1.14
双眼鏡	ニコン 8×40 OCF	1	H3.1.14
レンズ	ニコン AFマイクロニッコール 60mm F2.8S	1	H3.1.14
顕微鏡	エリザ TCM-1(双眼鏡付)	1	H3.1.14
顕微鏡	エリザ EHV-B(双眼鏡付)	1	H3.1.14
〃 (カメラ付)	ニコン Y2F21 生物顕微鏡	1	H3.1.14
薬品庫 (DEN型)	マリス 12-4400	1	H3.1.14
電工具セット	島津 157-130	1	H3.1.14
圧縮器	大阪ジャッキ製作所 枠組式 10t用	1	H3.1.14
遠心機	島津 NT-4 142-571 15ml×4本架	1	H3.1.14
チェーンブロック	仲山鋼材(株) 3.0t×陽種7M CIチェーン付	1	H3.1.14
上皿てんびん	村上衡器 103-0150 NS-500	1	H3.1.14
電子てんびん	新光電子 60-4194 AG-1200型	1	H3.1.14
電気ドリル	日立工機 PV PM3100ホルト用 木工36MM 鉄鋼16MM	1	H3.1.14
氷用コアビット	(株)ジャコム 76×1000	1	H3.1.14
電動のこぎり	日立 ハンドリー CB75 FA型	1	H3.1.14
透写台	松井製作所 9060AX	1	H3.1.14
入場券売機	芝浦自販機KB155NN	1	
望遠鏡	コーワ BL-12A5型	2	
喫茶コーナーテーブル (小)	インテリアセンター ベステルダイニング	1	
自動体外式除細動器 (AED) 用設置台	フクダ電子 M3K-1009COMPACT	1	H3.1.14

2 本施設利用者数実績

(単位:人)

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資料 展示 室	有料	一般	20,304	20,891	21,476	20,766	8,454
		大学生・高校生	1,262	957	1,259	898	440
	無料 免除	無料者	6,027	6,383	7,325	6,402	3,524
		免除者	8,311	9,105	10,070	8,708	2,613
	合計		35,904	37,336	40,130	36,774	15,031
全 天 周 映 像	有料	一般	13,139	12,305	13,377	12,022	3,538
		大学生・高校生	441	656	789	456	194
	無料 免除	無料者	6,027	2,595	3,838	2,472	1,764
		免除者	6,677	6,715	7,952	6,727	1,658
	合計		26,284	22,271	25,956	21,677	7,154
合 計	有料		35,146	34,809	36,901	34,142	12,626
	無料・免除		27,042	24,798	29,185	24,309	9,559
	合計		62,188	59,607	66,086	58,451	22,185
	うち重複入場者数		26,063	21,831	26,965	21,333	7,105
	実質入場者数		36,125	37,776	39,121	37,118	15,080

○無料者 : 中学生、小学生、未就学者

○主な免除者 : 65歳以上、身体障害者、学校教育により10人以上で利用する高校生

3 本施設現行利用料金一覧表

(1) 設置条例上限額

別表(第10条関係)

1 展示室に入場する場合

区 分	利 用 料 金	
	個 人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人につき 410円
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	1,350円	1人につき1,100円

2 全天周映像ホールに入場する場合

区 分	利 用 料 金	
	個 人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人につき 410円
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	1,350円	1人につき1,100円

(2) 利用料金承認額（平成26年3月31日承認）

〔受託者の名称〕 公益財団法人オホーツク生活文化振興財団

〔利用料金の額〕

1 展示室に入場する場合

区 分	利 用 料 金	
	個 人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	150円	1人につき 120円
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	450円	1人につき 350円

2 全天周映像ホールに入場する場合

区 分	利 用 料 金	
	個 人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	150円	1人につき 120円
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	450円	1人につき 350円

3 展示室及び全天周映像ホールのどちらにも入場する場合

区 分	利 用 料 金	
	個 人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	250円	1人につき 200円
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	750円	1人につき 600円

(3) 利用料金収入の減免基準及び運用

北海道立オホーツク流水科学センター条例施行規則（抜粋）

（利用料金の減免の基準）

第5条 条例第10条第5項の規則で定める基準は、次のとおりとする。

(1) 次に掲げる者については、条例第10条第1項に規定する利用料金（以下「利用料金」という。）を免除することができることとする。

ア 小学校の児童又は中学校若しくは中等教育学校の前期課程の生徒の引率者である教職員

イ 土曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定するこどもの日若しくは文化の日に利用する高等学校の生徒及びこれに準ずる者

ウ 学校教育又は社会教育により利用する高等学校の生徒及びこれに準ずる者（10人以上で利用する場合に限る。）

エ 特別支援学校の児童及び生徒並びにこれらの引率者

オ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設に入所し、又は通園している少年及びその引率者

カ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳の交付を受けている者及びその引率者

キ 生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者

ク 児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター若しくは障害者職業センターの長又は精神保健指定医により知的障害者と判定された者及びその引率者

ケ 精神保健福祉センターの長、精神保健指定医又は精神科を標ぼうする医師により精神障害者（知的障害者を除く。）と判定された者及びその引率者

- コ 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第5条の3に規定する老人福祉施設に入所している者及びその引率者
 - サ 65歳以上の者
 - シ その他知事がアからサまでに掲げる者に準ずる者と認めるもの
- (2) 前号に掲げるもののほか、知事が特別な理由があると認める場合は、利用料金を減免することができることとする。

「北海道立オホーツク流氷科学センターに係る申請に対する処分の取り扱いについて」（抜粋）
（平成24年12月6日付け文スポ第1587号）

1 審査基準

- (1) (略)
- (2) 規則第5条第1項第1号シに規定する「その他知事がアからサまでに掲げる者に準ずる者と認めるもの」は、次に掲げる者とする。
 - ① 施設の管理運営業務又は所蔵・展示資料の調査研究業務に関する視察（以下「公務上の視察」という。）のため来館した国会議員又は国会、裁判所若しくは政府関係機関の職員
 - ② 公務上の視察のため来館した地方公共団体の長、議会議員又はその職員
 - ③ 北海道が特に招待した者
 - ④ 所蔵・展示資料の調査研究のため来館した博物館等の関係者（外国人を含む。）又は学校教職員
 - ⑤ 公務上の視察のため来館した外国の議会議員、自治体の長その他公職に就いている者
 - ⑥ 北海道内の市町村に外国人登録を行っている留学生
- (3) 規則第5条第1項第2号に規定する「前号に掲げるもののほか、知事が特別な理由があると認める場合」は、事前の協議により知事が特別の理由があると認めた場合とする。

4 本施設利用料金収入実績

(単位：円)

区分 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
展示室入場料	3,310,460	3,771,060	3,646,030	3,882,210	2,131,690
全天周映像室入場料	80,090	113,220	184,020	124,300	17,270
展示室・全天周t入場料	8,131,050	7,426,650	8,086,800	7,167,650	2,011,940
合計	11,521,600	11,310,930	11,916,850	11,174,160	4,160,900

5 管理運営経費等の推移

(1) 管理運営経費の推移

(千円：人)

		H30年度 (決算)	R1年度 (決算)	R2年度 (決算)	R3年度 (予算)	主な内訳・数量
受益者 負担	利用料金	11,916	11,174	4,160	10,120	
	その他	—	—	—	—	
道負担	負担金	78,199	79,896	85,095	80,482	
	修繕費	0	117,763	193,831	209,000	屋上防水その他改修工事等
管理運 営経費	人件費	40,292	40,168	39,177	36,628	
	維持管理費	37,872	39,593	37,731	41,921	
	光熱水費	12,936	12,903	10,118	12,940	
	修繕費	5,340	3,968	6,743	3,000	
	事業費	11,024	8,613	5,733	8,593	
	その他	2,816	3,030	3,077	3,460	
職員 体制	常勤	10	11	10	9	
	非常勤・臨時職員	1	1	1	1	

(2) 主な修繕等の実績及び見込み

年度	負担者	修繕箇所	金額(千円)	備考
H30年度	指定管理者	施設小破修繕	3,141	全天候改善工事等
		機械・電気設備関係 備品・車両等	2,143 56	屋外電気配線腐食修繕等
		道	117,763	
R1年度	指定管理者	施設小破修繕	1,021	水栓器具取り替え修繕等
		機械・電気設備関係 備品・車両等	2,865 82	冷凍機冷却不良修繕等
		道	117,763	
R2年度	指定管理者	施設小破修繕	5,637	厳寒体験室各所修繕工事等
		機械・電気設備関係 備品等	1,106 0	自動ドアセンサー交換等
		道	193,831	
R3年度	道	屋上防水その他改修(外壁コーキング)	209,000	

6 実施事業の概要

(1) 指定管理業務

ア 運営業務

- ① 有料展示施設の利用承認、利用料金収受、案内業務
- ② 資料の収集、保管及び展示並びに資料の調査研究
- ③ 施設の利用促進(広告、宣伝等PR)
- ④ 講演会等の開催

イ 維持管理業務

施設の維持管理(警備、清掃、点検、修繕業務)

(2) 【参考】現指定管理者の令和2年度自主企画事業（上記に含まない独自事業）

- ・ 科学実験、解説等のYoutube配信等（年6回程度）
- ・ ギザ映画会（年2回）
- ・ 夏・冬のギザ祭り（夏冬繁忙期）
- ・ いくぞいきもの調査隊（年4回）
- ・ 四季の写真展（通年）

7 北海道財務規則（昭和45年北海道規則第30号）第205条の17に基づく運営許可及び借地借家法（平成3年法律第90号）第38条に基づく借家契約の状況

〔運営許可〕

物 件	規 模 等	許 可 先
事務室	1階 15.28㎡	(公財)オホーツク生活文化振興財団(期限：～R4年3月31日)
道の駅案内所等	1階 2.40㎡	紋別市(期限：～R4年3月31日)
軽飲食コーナー	1階 35.91㎡	} (株)オホーツク村(期限：～R4年3月31日)
土産品コーナー	1階 7.36㎡	

〔借家契約〕

物 件	規 模 等	許 可 先
自動販売機	1階 0.92㎡	北海道コカ・コーラボトリング(株)(期限：～R6年3月31日)